

経営幹部のための

職場 活性化 塾

第7回

管理職の前向きな姿勢が
職場を元気にする。
管理職は職場の顔、職場の元気は管理職次第です。

《筆者》PROFILE



㈱ヒューマンブレイン
代表取締役社長
大嶽 博一
東海高校、慶応義塾大
学卒業。大手コンサル
tant会社を経て1990年1
月、株式会社ヒューマン
ブレイン 設立、企業の
“人と組織の活性化”に
向けたプランニングや
研修、コンサルテーショ
ンを数多く実施し、大変
わかりやすく情熱的な
指導には定評がある。

管

理職の仕事にはストレスが
付いて回ります。上司と
部下の板ばさみ、部門間の葛藤
対立、人手も時間も足りない…。
とにかくメチャクチャ忙しい。それ
らが大きなストレスとなって襲い
掛かって来ます。

しかし簡単にギブアップして
後ろ向きになつていては、管理職
としての責任を果たすことは出来
ません。ストレスに打ち勝つ強い
心は、前向きに考える習慣を持つ
ことで醸成されていきます。

朝、気が滅入るようないやな
事があると、それだけで一日中落
ち込んでしまいます。しかし逆に
落ち込んでいる時に、思いがけな
くいいことがあると、急に元気に
なることがあります。つまり、
ちよつとした自分の気持ちの持
ち方・考え方によって、ストレスに

打ち勝ち前向きに行動できるよ
うになると言えるのです。普段
から、肯定的に考え行動する習
慣を持つことが重要です。確かに
物事は、気持ちの持ち方・考え
方によって、裏表の結果となるの
です。

南国の島に靴を売りに行った
2人の青年の話があります。青年
は2人とも、南の島に着くとすぐ
に本社に連絡を入れました。一人
は「靴など売れっこないから、すぐ
そちらに帰る。だつて皆裸足」と。
もう一人は「そちらにある靴の在
庫全て送るように。靴はいくら
でも売れる。だつて皆裸足」と。

靴が売れると思うか売れない
と思うかは紙一重です。それは
日頃の考え方の習慣によるところ
が大きいと言えます。あなたの会
社の管理職はどちらでしょう？

管理職たるもの、常日頃から
前向きな考え方の習慣を身につけ
行動したいものです。(単なるノ
ー天気では困りますが…)「どうせ
上はわかつてくれない」ではなく
「どうやって上司を説得するか」へ。
「予算が無いから」ではなく「いく
らあればいけるか」へ。「人手が
無い」ではなく「誰か確保できな
いか」へ。

そして、人間は自分の言葉に
洗脳される動物です。まずは職
場での普段の言葉から意識して、
プラス言葉を積極的に使いま
しょう。

“うれしい” “楽しい” “できる”
“充実している” “ありがとう”
“すばらしい” “幸せ” ……管理
職のその姿勢と行動が部下を、
そして職場を元気にさせ、大き
な成果につながるのです。

～その三～



人は自分の言葉に洗脳される

～その二～



物事はほとんどが裏表

～その一～



管理職は職場の顔と心得よ！
職場の元気は管理職次第